J-net
熟年ネット・ひたち

熟年

「シニアライフを
心豊かに生きる」ために
「仲間、生きがい、ひたちを
愛する心」を大切に
「感謝し感謝される楽しい活動」

女性センター祭り開催される

「出会いふれあい楽しい広場」をテーマに10月20日、**2018女性センター祭り**が開催された。

好天の中、副市長、市会議員出席のもと開会式が女性センター体育館で行われた。多賀中吹奏学部のファンファーレにより会場が一気に盛り上がり、主催者、来賓の挨拶に引き続き、女性センター友の会自主グループの発表へと移った。J－net会員も活躍するケーナの会も、見事に日ごろの練習成果を披露した。

J－netは、友の会の一員として、例年どおりパネルによる展示発表に参加。展示場所は体育館で「J－netの全体像」「シニア講座」「楽習会」「自主グループ活動」の4枚のパネルでJ－netをそれぞれ詳しく紹介した。その他、グループ・ピニオンやJ＆B活動で受賞した賞状の展示、J－net紹介パンフレットやシニア講座チラシ、楽習会年間活動計画などを準備し、資料については自由に持ち帰りいただいた。

今年は、ブースが体育館の入り口近くの目につく場所でもあり、立ち止まる来訪者も多かった。丁寧な説明に努め、仲間としての活動をお薦めしたので、今後さらに活動の仲間が増えることを期待したい。

ケーナの会の楽しい演奏

J-net ブース来訪者に説明する代表

平成30年度 シニア地域活動入門講座終了

9月26日の閉講式を以って、今年度のシニア地域活動入門講座が終了した。定年後も働く人が増えたことや、シニア向けの講座が他でも行われるようになったなどの影響からか、受講者を集めるのに苦労したが、14人の方たちが受講し、5カ月間10回のカリキュラムを修了した。修了時のアンケートでは「基調講演が今後の生き方に役に立った」「地域の魅力再発見講座は楽しかった」などの感想の他、老後資金の話や地域活性化の具体的取り組み例も聞きたかったという要望もあり、講座内容を決める難しさを痛感している。修了者からは2人がJ－netに入会することになった。

充実したシニアライフを過ごしたいと思っている方たちに魅力ある講座を提供できるよう、今後に向けスタッフ一同知恵を出し合って、カリキュラムの再検討をしたいと思っている。

受講者、豊田社協事務局長と講座スタッフ

J＆Bグループ 県知事表彰を受ける

10月17日に開催された茨城県社会福祉大会において、社会福祉功労者として県知事表彰を受けた。当グループは、平成18年7月に発足、日立市社会福祉協議会事業の一つである「おもちゃライブラリー」のお手伝いをしている。現在会員は18人、毎週火曜日、2～3人単位の交替制で活動している。白土代表は「おもちゃの出し入れ、見守りなど、地道な活動を続けてきたことが評価され、みんなで喜び合った。この受賞を契機に更に福祉向上に精進したい」と語っている。

デイサービスセンターで夏祭りのお手伝い

社協からの依頼により、J－netの4人と茨城キリスト教大学生で、8月24日にデイサービスセンターにて夏祭りのお手伝いをした。小澤さん、山田さんは昨年から、山中さんは初めての参加。かき氷やスナック類のサービス・ヨーヨー釣り・金魚釣りのお世話などを行った。

ゲストのバンドに合わせて懐かしの歌を全員で合唱し、楽しいひと時を過ごし、利用者から感謝もされた。いずれは私たちもお世話になるかも知れないデイサービス。地域への貢献という思いで、今後も積極的にお手伝いしたいと思う。

（濱　高廣）

楽 習 会

夏季交流会 （7/26）

「会瀬青少年の家」の屋外炊飯場で、夏季交流会「バーベキュー」を実施した。

山本幹事の挨拶、担当紹介、諸注意事項の伝達後、班編成もスムーズに進み、鈴木(敏)チーフシェフから本日の献立説明を受けた。女性陣の奮闘により手際よく料理の準備が進み、予定通りの献立(BBQ・うどん)ができた。

小池さんの乾杯の音頭で会食、懇親会がスタート。特設ステージでは、ケーナ、オカリナの演奏に合わせ、全員でナツメロ(6 曲)を合唱した。最後のビンゴゲームでは、和気あいあいのうちに楽しい交流・親睦を深めることができた。　参加者 26 人　（井上 和美）

歌声喫茶 （8/23）

昨年好評だった「ヒマナスターズ」をお招きして水木交流センターで開催した。

第１部で「オカリナハート」、第２部で「笛の会」がそれぞれ３曲ずつ演奏、第３部では「ヒマナスターズ」の演奏で、マヒナスターズの名曲「夜霧のエアーターミナル」からスタートした。「ともしび、かあさんの歌」など、みんなが知っている歌に懐かしみながら､思い出の名曲を演奏に合わせて 10 曲を大合唱した。

最後は「泣かないで」の演奏に、大拍手と共にアンコールの声が上がった。

昨年を上回る参加者で盛り上がり、大いに楽しむことができた。

参加者 81 人（うち、会員外 45 人）（山本 三男）

ある町の高い煙突 （9/13）

日鉱記念館事務主任・佐藤博一氏を講師に、映画の中身の基礎知識をつける目的で、主な登場人物７人の紹介と、その業績や人間像及び大煙突についてお話いただいた。経営・生鉱吹き精錬開発・煙害処理負担、補償・煙害対策実験と大島桜移植、大煙突設計施工などを日立鉱山側の若い６人が各々分担し、煙害対策を成就。残り１人の関右馬允は、23 歳で住民代表として鉱山側との太いパイプ役を務め煙害解決に尽力。

日立大煙突は米国のG･フォールズを 5ft 抜いた 511ft (155.7m)の高さで当時世界一、1915 年竣工。

今後日立の発展は、若い人の力を発揮しやすい環境を整える事であると強調して講演を締めくくられた。

参加者 60 人（うち、会員外 33 人）　（湯澤 昭一）

財布に優しい暮らし(応用編) （10/11）

昨年の講座に続き塚本講師に応用編をお願いした。時の流れは、貯蓄から資産形成に移り変わっていることを、講師の豊富な知識から我々にも理解できるように纏めた資料を準備され、分かりやすく話していただいた。詳しくお伝えしたいこととして、金利や為替、日本経済のグローバル化などを中心に解説され、次の世代に役立てば幸いと主張された。

受講した会員は、消費者クイズや金利計算に取り組み、資産形成の参考に役立てたと考えます。

参加者 33 人　（佐藤 一男）

一泊懇親旅行（尾瀬岩鞍リゾートホテル） （9/27）

今年度の一泊懇親旅行は、土出温泉・ 尾瀬岩鞍リゾートホテルの送迎付きバスでの旅行を実施した。

日立駅を定刻に出発。日立南太田 IC より一路目的地に向かう。常磐・北関東・東北・関越道と車を進め、赤城高原 SA で各自昼食。最初の見学地、花寺として知られる清龍山吉祥寺で秋の花々を鑑賞。次の見学地、「東洋のナイアガラ」と称されている「吹割の滝」遊歩道散策後、宿泊ホテルへ向かう。尾瀬岩鞍リゾートホテルに到着後、美肌効果のある温泉にゆっくりと入り、楽しく宴会を過ごし１日目を終了。

翌日の観光では、日光戦場ヶ原展望台で休憩、竜頭の滝、中禅寺湖湖畔を眺めながら、日光東照宮へと道を進めた。日光東照宮では平成の第四期修理により、本殿、石の間、拝殿、陽明門の更新修理を終了した優雅な姿を見学することができた。

今回も社会勉強ができ、有意義で親睦が図られたバス旅行だった。

参加者 22 人　（井上 和美）

自主グループ活動

Ｊネット・オカリナハート　オカリナの体験指導

９月は敬老の日にあたり、介護施設からの依頼が２件ありました。15 日は田尻ヶ丘ヘルシーケア「祝寿の会」で演奏、利用者とご家族約 150 人が聴いてくださいました。19 日には鮎川の萬春園を訪問。こちらで演奏するのは初めてでしたが、皆さんオカリナに合わせ大きな声で歌い、とても喜んでくださり、帰りには一同握手攻め、うれしい訪問でした。　（畑山 和子）

９月 14 日、子どもすくすくセンター主催の「第６回きらりんタイム」で、子育て中のお母さんたちのオカリナ体験指導を行いました。練習曲は「大きな栗の木の下で」。若いお母さんたちは新鮮なパワーと感の良さで短時間で曲を仕上げ、子どもたちの前で堂々と演奏、拍手喝采でした。

（小林 美津江）

グループ・ピニオン　クリーンハイキングに参加

久慈浜海岸で 10 月 20 日、日立市ボランティアグループ連絡会主催のふれあいクリーンハイキングが行われた。毎年恒例となっている行事で、今年もボランティア活動実践者や一般市民など、約 200 人が海岸の清掃活動に汗を流した。清掃後、古房地公園に移動し、喫茶サロン、キノコなどの即売、オカリナ演奏を楽しんだ。ピニオンのオカリナ演奏メンバーによるミニコンサートでは、秋の歌や「日立音頭」「日立市民の歌」などを演奏し、オカリナの音色と共に参加者の歌声が秋空に広がった。（畑山 和子）

J&B グループ　笑顔があふれた夏祭り

恒例のおもちゃライブラリーの「夏まつり」を８月 21 日、福祉プラザ大会議室で開催した。子どもたちはマットの中央においたビニール片を、一斉に投げ飛ばして大歓声。白土さんの新ネタのマジックには不思議がり、驚いたり、興味津々。また、スタッフ手作りの７種類のおもちゃでは、乳幼児が飽きずに何度も挑戦していた。友だちや親子で一緒に遊べるので、会話も弾み、既製品では得られない手作りのいろいろなおもちゃに興味を示していた。当日は「ふくしチャレンジスクール」を受講している小学生も加わり、会場いっぱいに明るい笑顔が広がっている様子を JWAY が取材し、後日放映された。

（山中 かよ子）

河原子海岸清掃グループ　私は溶けています

７月 27 日、17 人の参加者で実施した河原子海岸清掃後のサプライズとして、女性陣の協力で手作りアイスキャンデーを海岸でいただきました。当日は早朝からの猛暑で、コーヒー味、オレンジ味、砂糖味果物入りの手作りキャンデーがおいしいと好評でした。なお、秋山さんのお孫さんが飛び入り参加され、大いに盛り上がりました。小学生ですが海岸清掃の意味を分かっており、ポイ捨てをしてはいけないことを活動を通して身につけてくれたでしょう。　（小林 信幸）

ウオーク会　「ひよっこ」の里を巡る

初夏の快晴の下６月９日、昨年の TV ドラマ「ひよっこ」の舞台、国登録文化財「旧町屋変電所」など歴史と自然を味わうウォーク会に 14 人が参加。集合場所で「河内の文化遺産を守る会」会長の説明あり、いざスタート。発電所跡の樹林を抜け、黒磯岳の断崖「黒磯バッケ」の景観に見入る。旧鎌倉街道の太郎坂から蛇行する里川に沿い、登録有形文化財「なかばし」「不動尊」そして潜り橋の「地徳橋」などで水音を聴きながら一服の涼。町屋唯一の醸造元檜山酒造で日本酒やワインを求める。次いで日本武尊を祀る「吉田神社」へ。樹齢 450 年、周囲 5m、高さ 30mの御神木を見上げ参拝。「町屋宿通り」を周回してゴールの「旧町屋変電所」へ。里川の水音を聴きながら大きな胡桃の木陰で昼食。“空気が美味く大いに自然を満喫した約５Km、2.5 時間でした。

（中﨑 修）

同好会だより　健康麻雀同好会が正式に発足

健康麻雀同好会が正式に発足しました。会の名称は「すずめ倶楽部」です。麻雀未経験の女性４人を含めて現在９人の会員が参加しています。月額 500 円の会費で、例会は毎月第３月曜日 13 時から 16 時に平和通りの「いこいの広場」を借り切って行います。同時に３卓を囲むことが可能ですので、参加を希望される方は、代表連絡役の鈴木百合子さんまでご一報ください。未経験の方の参加も歓迎します。　（濱 高廣）

●● インフォメーション ●●

楽　習　会　（11～1 月）

月/日	楽習テーマ	内　　容	場　所
11/22	地域包括支援センターについて	活動内容について皆で学びましょう	女性センター
12/ 6	常陸那珂火力発電所見学	最新鋭の火力発電所を目で確かめよう	東海村
12/20	年末交流会	１年を振り返り、交流を深めよう	シビックセンター
1 /10	新春を和で寿ぐ	落語と演奏など、新春に相応しい出し物	共楽館
1 /24	井戸端会議(4)	次年度の楽習会のテーマについて	女性センター

企 画 委 員 会 情 報　（8～10 月）

審議事項の主なものを掲載します

8 月
1）市内施設巡り、ＢＢＱ決算報告あり　了承
2）ＢＢＱに対しメニュー、場所などに要望あり：次回の担当に引き継ぐ

9 月
1）12/６那珂火力発電所見学のバス代補助の件：30%とする
2）一斉メール配信時の留意点　添付資料付きの時は、特に携帯メールで配信不可の場合あり、注意要

10 月
1）一泊懇親旅行の決算報告あり：了承
2）楽習会行事費補助について明確でない部分がある：役員会で検討、再提案する

★ 新 入 会 員 紹 介 ★

みなさん　どうぞよろしくお願いします

（昨年度入会済）
小豆畑 安男さん
（西成沢町）

安斎 宗四郎さん
（東大沼町）

泉　俊明さん
（鮎川町）

前田　澄子さん
（台原町）

リレー随筆

～ 健康年齢への挑戦 ～　　長谷川 孝

数年前から新たに二つの事にチャレンジしている。一つは偶然に友人に誘われ「写真五七五」に参加した。自分で撮った写真に句を作り、パソコンソフトで文字入れをする。入社したての頃に何年か俳句を経験して以来、数十年振りの俳句との再会となった。参加の動機は「俳句と写真との融合」という新しい表現スタイルに惹かれたことである。

デジカメで四季折々の日本の風景や人々の営み等を写し取り、その写真に向き合い五七五で表現することに楽しみを見つけた。俳句でも川柳でも、五七五なら良いとし、季語だのと難しい制約はなしである。

毎月１回参加してみると、通常の句会と違い選者や講師もいなく、参加者が気軽に感想や添削を言い合う。この「緩やかな句会」という形式も初心者には入り易いと感じた。句会後の昼食と懇談のひとときも楽しい。

「写真俳句」はインターネット上にも多くの投稿サイトがあり、楽しみであり又参考にもなる。

二つ目はテニスである。こちらも多少の経験はあったが、初心者用のラケット、シューズ等を揃えての再挑戦である。ジョギングはもとよりウォーキングさえ長続きしない中で、シニア向け講習を受けた後、池の川コートを拠点にするシニアのサークルに入会した。

週に２、３回、午後の時間帯に１日１コイン(100 円)でテニスを楽しめる。基礎練習なしで、いきなりペアを決めての実戦形式が特徴で、毎回 10 数名が集まる。１年位はなかなか付いていけなかったが最近ようやく慣れ、テニスの面白さが分かってきた。

脳と心身の両面の活性化で健康年齢の維持へ挑戦を続けていきたい。

西日本豪雨災害被災地への
義援金募金御礼

義援金の募金に多数の方にご協力いただき、ありがとうございました。

募金総額の 26,800 円は 9 月 18 日に、「平成 30 年 7 月豪雨災害義援金」として中央共同募金会に納めました。

一日も早い復興をお祈りします。

【編集後記】　猛暑、豪雨、台風と各地で災害に見舞われたこの夏。10 月に入ると一気に秋が深まり、紅葉の便りも北から南下、県北の名所はこれからである。ビッグイベントの「１泊懇親旅行」が多くの参加で実施され、渓谷や滝、日光東照宮と、盛り沢山の観光で大いに懇親を深めることができた。一方で、シニア講座を終え、新たな仲間が J-net に加わった。活躍を期待したい。

年度も後半に入り、年末から新年へ残る行事に万障繰り合わせ、多数の出席で盛り上げていきたい。　（編集子）

発　　行：熟年ネット・ひたち
代表　山野 邦雄
編　　集：広 報 グ ル ー プ
住　　所：〒317 - 0072
日立市弁天町 2 - 12 - 10
Tel(携帯)：080-2380-3089
E - m a i l：jnet-hitachi@ jneth.com
U　R　L：http://jneth.com